

## ブリーゼタワー

設計：三菱地所設計  
 デザイン・アーキテクト：インゲンホーフエン・アーキテクツ

D+T

## Design + Technique

環境と人にやさしい  
ジェントルビルディング

国府田道夫 杉本宏之  
 MICHIO KODA HIROYUKI SUGIMOTO

本計画は大阪サンケイビルと隣の島津商会の敷地を合わせた再開発プロジェクトであり、オフィス、商業、ホール、会議室、レストランの用途が複合する超高層ビルである。構想段階から環境への配慮を強く意識し、単にエネルギー消費を抑制するだけでなく、環境とともにそこに集う人々にもやさしい「ジェントルビルディング」の理念をもとに計画された。インゲンホーフエン氏との協働により、環境共生とデザインの両立から一歩進み、人の視点で考えた新しい建築の提案を目指した。

複雑な敷地形状に影響されずに機能性・環境の観点から合理的な形を追求する「フリースタANDING」の考え方に基づき、各用途に求められる機能に適した整形なパーツの組み合わせによって構成されている。

高層階のオフィスは東西にコアを配置することによって年間の日射負荷を軽減し、低層階は南北方向に光と風の通り抜ける「メディアコート」と呼ばれる吹抜けをはさんで配置され、外部から人々を自然と内部に導く構成となっている。

高層階のガラスカーテンウォールには、給排気をフロアごとに完結したコンパクトダブルスキンを採用し、通常の窓に比べてピーク時の日射熱負荷を50%程度に軽減した。また、サッシュを二重化することで、直接雨水が吹き込むことを抑制し、外部の風速に影響されず室内に流入する風量を一定に制御できる風量調



前ページ—商業吹抜け 6階から「メディアコート」を望む。フローラルパターン全体を高い位置から見る事ができる\*  
 上—1階オフィスエントランス 床は外部から連続したデザイン。左側壁面は同じくドットを用いた光壁\*  
 下—南側商業エントランス 右奥は隣地境界のグリーンウォール\*

節弁をサッシュ内に設け、各階の空調機と連動した換気扉によって「ブリーゼ（そよ風）タワー」の名の由来となった“風を感じられる超高層オフィスビル”を実現した。

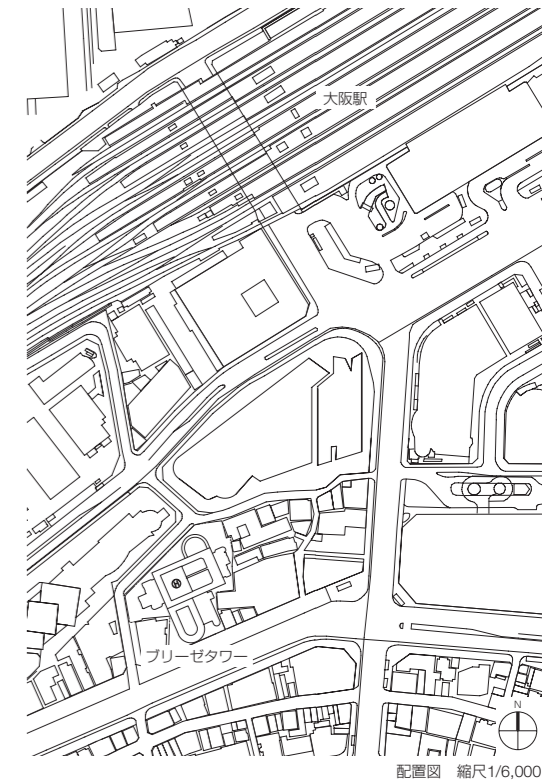
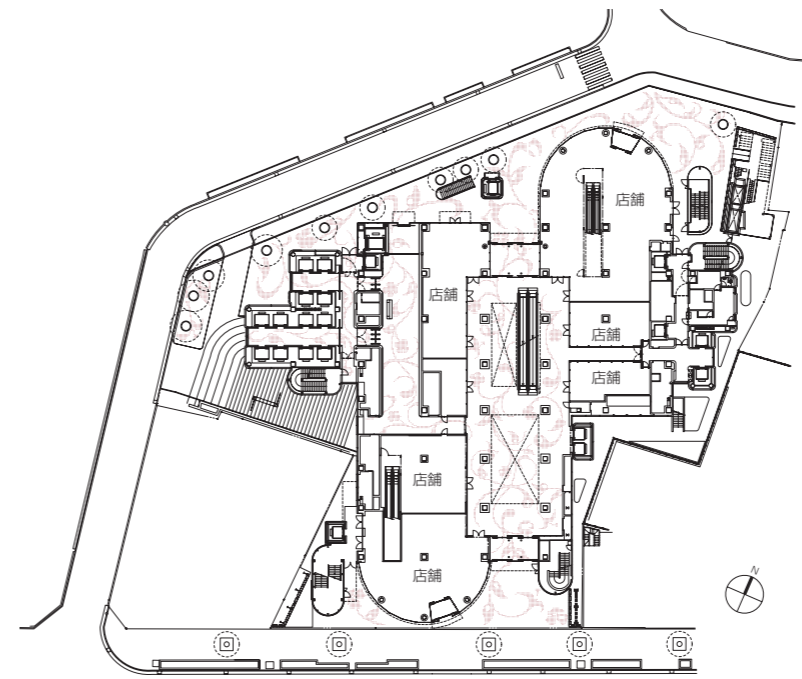
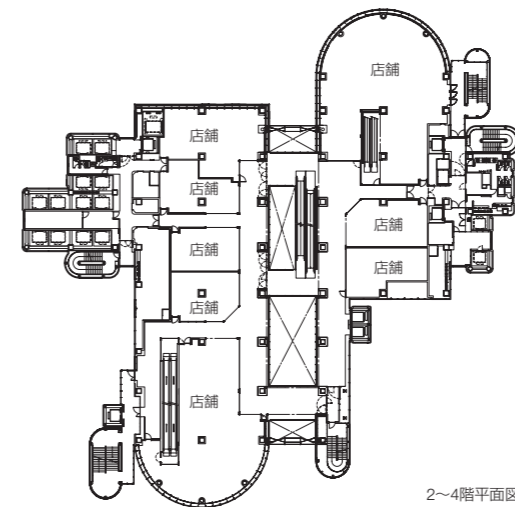
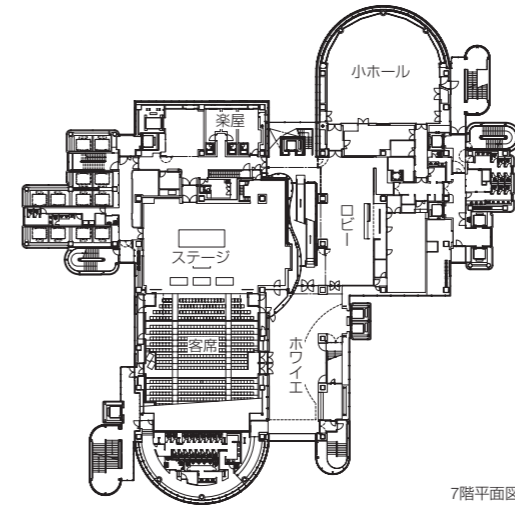
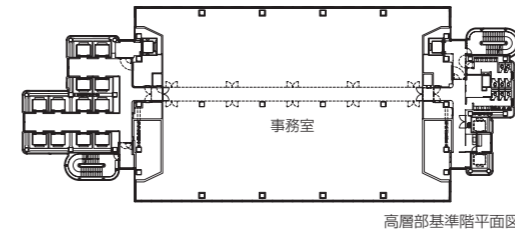
低層階には7層を貫通するダブルスキンを採用した。外側には乳白色のガラスユニットを下見板状に設置し、自然光を取り入れながら日射熱負荷を軽減することで大壁面に覆われ、外部との関係が希薄になりがちな商業施設の外壁において自然光とともに柔らかな外の気配を感じ

られる半透明な外壁を実現した。

建物周囲のオープンスペースは人々を迎え入れる空間として、華やかで潤いのある空間を目指した。「メディアコート」へとつながる連続性を意識し、内外を区切ることなく一体にデザインしたペーパメントと敷地境界沿いに高さ10mのグリーンウォールで表現した。ペーパメントのテーマは、“敷地全体に敷き詰められた白い花模様のカーペット”。フローラルパターンと呼ばれるデザインは、花を直接的に表現するのではなく、ドットに

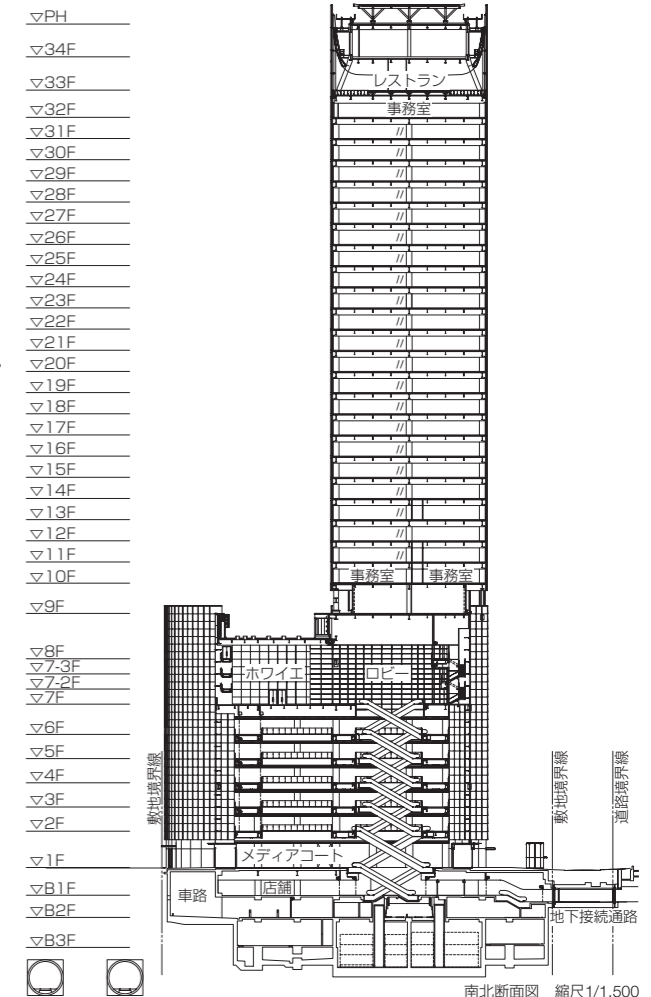


左—東面全景\*  
右—北面夜景 商業の賑わいと人々の気配が感じられる外壁\*  
(写真：\*印は川澄建築写真事務所)



配置図 縮尺1/6,000

タイルディテール 角度によって反射が異なり、歩くごとにきらきら輝く



南北断面図 縮尺1/1,500

よる抽象的なパターンとした。純白の磁器質タイルをベースとし、輝きのあるタイルを丸く象嵌するという方法である。ドットの材料には当初、ステンレスなどの金属や「ラスタータイル」などを検討したが、安全性、耐久性の点で問題が残った。金属のように輝き、耐久性と安全性を併せ持つタイルの実現に試行錯誤の結果、表面に粘性の高い釉薬を使用し、細かい粒が立つような面状をつくり、その上に透光沢釉を施した。球面状の粒は常にどこかの部分に光が反射し輝いている状態をつくり出すに至った。数々のデザイン的な要求を実現できた

のは、既存の中から選ぶのではなく、新しいものをつくり出せるタイルという仕上げ材の無限の可能性と、経験に裏打ちされた高い技術力にあったのではないかと。時を重ねても変わらない美しさを保つタイルという材料同様、「フリーゼタワー」が人々に長く親しまれる建築であり続けることを願っている。\*

こうだ・みちお—三菱地所設計 建築設計一部副部長／1960年生まれ。1985年、東京工業大学大学院修士課程修了。1985年、三菱地所入社。1995年、ペンシルバニア大学大学院修士課程修了。主な作品：横浜銀行本店（1993）、HSBCビルディング（1998）、OAZO丸の内北口ビルディング（2004）など。

■建築概要

名称：フリーゼタワー  
所在地：大阪府大阪市北区梅田2-4-9  
設計：三菱地所設計、デザイナー・アーキテクト：インゲンホーフエン・アーキテクト  
施工：鹿島建設  
敷地面積：5,291.89㎡  
建築面積：3,621.29㎡  
延床面積：84,749.09㎡  
規模：地下3階、地上34階、塔屋1階  
構造：地下：SRC造、地上：S造  
工期：2006.3～2008.7  
●INAX使用商品●床タイル：テクノプレート特注；TCS400/E52KR-0022（白ベース）、TCS100φ/E78KSR-0636（ドット）

すぎもと・ひろゆき—三菱地所設計 建築設計一部主幹／1966年生まれ。1991年、東京芸術大学大学院修士課程修了。1991年、三菱地所入社。主な作品：HSBCビルディング（1998）、三菱重工品川ビル（2003）、シーノ大宮サウスウイング（2004）など。